

第38回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）
 2. 期日 2018（平成30）年6月15日（金）・16日（土）・17日（日）
 3. 会場 日本大学工学部（福島県郡山市田村町徳定字中河原1）
JR東北新幹線郡山駅から
①福島交通バス 郡山駅3番ポールから「昭和町・日大経由徳定」で20分、「日本大学」下車すぐ
②JR東北本線（新白河方面行き）「安積永盛駅」下車徒歩15分
③タクシー 約15分（料金2,500円）
福島空港から
空港リムジンバス（福島空港～郡山駅：50分） 片道1,100円、発着便に接続）
 4. 参加費 会員・非会員：5,000円
学生：2,000円
講演集販売：4,500円
※ 土木史研究委員会のホームページをご参照のうえ、6月6日（水）までの事前申込期間に申込を済ませてください。
 5. 懇親会 1) 日 時：2018（平成30）年6月16日（土） 18:00～19:45（予定）
2) 会 場：日本大学工学部 55号館8階 スカイレストラン
3) 参加費：一般：4,000円、学生：1,000円
4) 参加方法：当日会場受付で申し受けます
昼休みには各種小委員会の会議が予定されています。詳しくは、後日、各委員会よりご案内いたします。
 6. 見学会 1) 日 時：2018（平成30）年6月15日（金） 9時30分～16時30分
2) 参加費：3,000円（交通費、昼食、保険料込み）
3) 見学先：安積疏水施設（日本遺産）
4) 行 程：郡山駅前（西口）→十六橋水門&ファン・ドールン銅像→上戸頭首工（現取水堰）&山潟渠口（初代取水堰）→田子沼分水工
→沼上隧道→沼上発電所→玉川堰（初代取水堰）→熱海頭首工（現取水堰）&丸守発電所→第一分水路分水点→開成館
→麓山公園「麓山の飛瀑（登録有形文化財）」→郡山駅前（西口）
- 【同時開催】土木史研究委員会HPにて詳細をご確認ください。
◇シンポジウム『土木遺産を活かしたまちづくり(仮)』（土木学会主催）
- 1) 日 時：2018（平成30）年6月16日（土） 16:00～17:45（受付開始時刻 14:20）
 - 2) 会 場：日本大学工学部 70号館 7014教室
 - 3) 参加費：無料（シンポジウム会場受付にて、ご記名をお願いします）

6. プログラム

◆6月16日(土)

※会場は、変更になる場合があります

| 時間 | 第1会場(7033教室) | 第2会場(7034教室) |
|-------|---|---|
| 9:00 | 開会挨拶 土木史研究委員会委員長 知野 泰明 | |
| 9:15 | 【土木遺産と利活用①】(企画) 司会:知野 泰明(日本大学) | 【土木史と教育】(企画) 司会:今 尚之(北海道教育大学) |
| | 1 杜の都を育んだ土木遺産「四ツ谷用水」 | 14 吉野川に架かる橋梁を対象とした高校生の興味促進に関する研究 |
| | 1 柴田尚(仙台・水の文化史研究会)・後藤光亀 | 71 鈴木圭(日本大学)・新保康太・堺耕造 |
| | 2 仙台市煉瓦下水道の活用事例 | 15 土木史と土木遺産による話題提供が工業高専の学生に及ぼす教育効果に関する考察 |
| | 7 仲道雅大(仙台市)・後藤光亀 | 75 森山卓郎(阿南工業高等専門学校)・角亜矢香 |
| | 3 野蒜築港関連事業から学ぶもの | 16 『土木偉人かるた』を用いた土木史学習の提案 ★ |
| | 11 後藤光亀(東北土木遺産研究所) | 79 鈴木三馨(大成建設技術センター)・斉木功・山口剛士・緒方英樹 |
| | 4 荒川の選奨土木遺産を活用したにぎわい創出の取組み ★ | 17 土木遺産ツアーにおける土木コミュニケーションに関する研究(その2) ★ |
| 10:55 | 17 栗原太郎(国土交通省)・加藤桂一・石井宏明 | 83 原口征人(北海道開発技術センター)・岩田圭佑・今尚之・石川成昭 |
| 11:05 | 【土木遺産と利活用②】(企画) 司会:後藤 光亀(東北土木遺産研究所) | 【河川】 司会:岡田 一天(プランニングネットワーク) |
| | 5 選奨土木遺産・西根堰の利活用 | 18 野鳥川に現存する伝統的河川構造物 ★ |
| | 23 石川博利(伊達西根堰土地改良区)・後藤光亀 | 85 林博徳(九州大学)・兒嶋力也・寺村淳・島谷幸宏 |
| | 6 ツアー参加者から見たインフラツーリズムの魅力に関する研究ー土木遺産ウォーキングツアーに着目してー ★ | 19 常願寺川改修における土砂対策の系譜 明治の改修から戦後の改修まで |
| | 29 石田彩乃(さいたま市)・阿部貴弘 | 89 白井芳樹 |
| | 7 福岡県朝倉市における谷止の例 ★ | 20 旧神通川流域の土地利用と水辺景観の変遷 |
| | 33 中島圭(朝倉市)・寺村淳 | 95 吉川真裕(金沢学院大学大学院)・馬場先恵子 |
| | 8 近世最大の砂防施設群“別所砂留”(第三報)ー保存活用に関わる行政の支援ー | 21 甲州・徳島堰と御勅使川扇状地の将棋頭の役割 ～釜無川・御勅使川の治水システムを再考する～ |
| 12:45 | 37 樋口輝久(岡山大学大学院)・光成良秀 | 101 大熊孝(元新潟大学) |
| 13:45 | 【明治150年】(企画) 司会:築瀬 範彦(足利工業大学) | 【土木構造物の履歴】 司会:阿部 貴弘(日本大学) |
| | 9 土木行政の近代化に関する考察 ★ | 22 「辰巳上水江筋の絵図」から読み解く辰巳用水逆サイフォンの変遷 ★ |
| | 41 崎島達矢(東京大学) | 113 池本敏和(金沢大学)・玉井信行・藤堂治彦 |
| | 10 明治維新期のインフラ事業と日本近代化 ★ | 23 夜明ダム水没遺構の歴史と現在 一袋野堰と筑後軌道一 ★ |
| | 49 鶴飼政志(東京経済大学) | 121 寺村淳(九州大学)・島谷幸宏 |
| | 11 「明治100年」記念に行われた日本の未来像の設計について | 24 国の登録有形文化財 森村橋の橋台に関する資料紹介 ★ |
| | 55 土田宏成(神田外語大学) | 133 永富大亮(八千代エンジニアリング)・金子節郎 |
| | 12 松前・福山波止場の港湾機能に関する基礎的研究 ★ | 25 3次元モデルを用いたダム撤去事業における土木史料活用の報告 |
| | 61 佐々木恵一(函館工業高等専門学校)・原口征人・石川成昭・今尚之 | 137 永村景子(日本大学)・野間卓志・高田哲聖・小林一郎 |
| | 13 明治期の電信・郵便網の発達と陸上交通史ー近代における蚕糸業を発展させたインフラ整備ー | 26 熊本城の築石構造物の被災状況調査と再現解析に関する基礎的研究 ★ |
| 15:50 | 65 山浦直人(千代田コンサルタント) | 141 勝田佑弥(長崎大学大学院)・杉本知史・山中稔 |
| 16:00 | シンポジウム(会場:70号館 7014教室) | |
| | シンポジウム 『土木遺産を活かしたまちづくり(仮)』 | |
| | ● 基調講演 「日本遺産としての安積疏水」(45分) 講演者: 知野 泰明(日本大学 准教授) (休憩:5分) | |
| | ● パネルディスカッション(55分) パネリスト 知野 泰明(日本大学 准教授) ほか、予定 | |
| 17:45 | コーディネーター 田中 尚人(熊本大学 准教授) | |

◆6月17日(日)

※会場は、変更になる場合があります

| 時間 | 第1会場(7033教室) | 第2会場(7034教室) |
|-------|--|---|
| 9:00 | 【史料】 司会:白井 芳樹 27 戦前期の長野県の永久橋に取り組んだ技術者 149 山浦直人(千代田コンサルタント)・小西純一 28 高田雪太郎史料にみる明治の土木 157 是松慧美(富山県立山カルデラ砂防博物館) 29 『江戸名所図会』にみる 街路の中間領域に関する基礎的研究 ★ 161 渡辺万紀子(日本大学大学院)・天野光一・西山孝樹 30 江戸時代前中期における『徳川実紀』にみる幕府の道路行政政策 ★ 167 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之・天野光一 31 民話「姉川と妹川」の成り立ちと地理的背景 | 【橋梁】 司会:鈴木 圭(日本大学) 44 朝鮮総督府鉄道局による複斜材型トラス橋梁の開発と建設 ★ 261 高橋良和(京都大学)・小嶋進太郎・Mya San Wai 45 大阪市電の橋の設計計算について 271 松村博・五十畑弘 46 大阪市・市電事業で建設された橋梁のデザインに関する一考察 279 黒山泰弘(大阪ビジネスパーク協議会)・松村博・佐々木葉・小澤広直 47 1893(明治26)年竣工のコンクリートアーチ橋 八尾眼鏡橋(その2) ★ 289 長谷川洌(八尾生コン) 48 橋は何故落ちたか(失われた叢書) |
| 11:05 | 183 安井雅彦(パスコ)・富永晃宏 | 293 福島啓一 |
| 11:20 | 【錦帯橋】(企画) 司会:小林一郎(熊本大学) 32 錦帯橋報告書編纂作業部会について 187 小林一郎(熊本大学) 33 近世城下町岩国の錦見地区における城下町設計の論理 ★ 189 阿部貴弘(日本大学)・松下直道 34 錦帯橋の構造の独自性について 195 松村博 35 絵図面の分析に基づく錦帯橋の変遷 ★ | 【災害と土木史①】(企画) 司会:平野 勝也(東北大学) 49 お法使察にみる益城町平田の農村コミュニティの変容に関する研究 ★ 301 田中尚人(熊本大学)・大森祐基 50 筑後川中流域における近世以降の災害リスクと平成29年7月九州北部豪雨 307 寺村淳(九州大学)・島谷幸宏 51 大正期の京都府における水防強化 一大正6年10月水害における久世郡の水防と淀川木津川水害予防組合設立に着目して一 ★ 313 林倫子(関西大学) 52 風俗画報に見る 明治29年陸羽地震 ～地震のこわさを知る～ |
| 13:00 | 199 樋口輝久(岡山大学大学院)・見尾拓海 | 319 安達實(金沢工業大学)・村田晶・宮島昌克 |
| 14:00 | 【戦後土木施設】(企画) 司会:岡田 昌彰(近畿大学) 36 戦後都市施設の歴史・文化的価値の評価基準に関する検討(その3) 一戦後街路の評価と1次調査リストの作成一 203 土井祥子(東京大学大学院)・大沢昌玄・木村優介・阿部貴弘 37 戦後土木施設としての首都高速道路の特質に関する一考察 209 佐々木葉(早稲田大学大学院)・小澤広直 38 戦後土木施設としての港湾施設に関する歴史・文化的価値に関する基礎的考察 | 【災害と土木史②】(企画) 司会:天野 光一(日本大学) 53 肥後慶長・正保国絵図精度と刻印された微地形 一地盤リスクの探索一 323 福田光治(大成ジオテック) 54 平成28年熊本地震による歴史的土木建造物の被災状況に関する調査報告(その2) 331 本田泰寛(第一工業大学)・阿部貴弘・北河次郎 55 福岡県星野川における石橋の保全を目的とした分水路による災害復旧 337 石橋知也(長崎大学)・林博徳・島谷幸宏・柴田久 |
| 15:15 | 215 上島顕司(国土技術政策総合研究所) | 337 石橋知也(長崎大学)・林博徳・島谷幸宏・柴田久 |
| 15:30 | 【都市】 司会:佐々木 葉(早稲田大学) 39 菊池市中心市街地におけるまちづくり活動の変遷に関する一考察 ★ 219 吉永敦音(熊本大学大学院)・田中尚人 40 流通業務団地誕生背景にある都市課題と検討経緯に関する史的考察 227 大沢昌玄(日本大学)・岸井隆幸・中村英夫 41 土地区画整理事業における土地利用計画と換地計画の変遷に関する一考察 ★ 235 築瀬範彦(足利工業大学)・山本芳明・堂柿栄輔 42 大阪市電の路線選定の検証 243 松村博・黒山泰弘 43 Research on the Eastward Orientation of Historical Capital Cities of Burma | 【社会と土木】 司会:島谷 幸宏(九州大学) 56 宇部興産専用道路の規格に関する基礎的研究 341 西島初(中日本高速道路)・岡田昌彰 57 八田興一の福建省調査 343 武長玄次郎(木更津高専) 58 出稼ぎトンネル坑夫集団「豊後土工」と日本の植民地開発 ★ 347 谷川竜一(金沢大学) 59 足尾銅山通洞選鉱所の変遷と遺構に関する研究一大正中期以降から昭和10年まで一 ★ 355 青木達也(宇都宮大学)・宮本忠夫 60 高梁川東西用水工事の事業費に関する研究 ★ |
| 17:35 | 253 山田耕治(玉野総合コンサルタント)・松原康介・岩橋佑 | 367 樋口輝久(岡山大学大学院)・横山亜美 |
| 17:45 | 若手優秀講演賞表彰 土木史研究委員会発表小委員会 | |
| 17:55 | 総括および閉会挨拶 土木史研究委員会幹事長 阿部 貴弘 | |